

広報

新宿

http://www.city.shinjuku.lg.jp/

8・5号

令和元年(2019年)

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1

発行:新宿区 ☎03-3209-1111

編集:東京オリンピック・パラリンピック
開催等担当課

しんじゅくコール ☎03-3209-9999
土・日曜日、夜間もご案内
受付時間:午前8時～午後10時
FAX 03-3209-9900

聴覚に障害がある方で「ファックス番号の
ない記事」へのお問い合わせは、しんじゅ
くコールのファックスをご利用ください。



HOST CITY



東京2020
オリンピック・
パラリンピック
特集

応援を力に東京オリンピックを走りたい!



桐生祥秀

きりゅう・よしひで
平成7年(1995年)生
まれ。中学校で陸上競
技を始める。高校3年
生時にジュニア世界記
録に並び、以降、オリ
ンピックや世界陸上で活
躍。日本生命所属。
平成29年9月、全日本
インカレ100mで9秒98
を記録。

日本選手で初めて100m9秒台に
到達した桐生祥秀選手。
2020年、新宿区の新国立競技場での
大活躍が期待される桐生選手に
オリンピックに向けた想いを伺いました。



テレビで見た憧れの大会

リオデジャネイロ2016オリンピックでは、男子
4×100mリレーで銀メダルと、大活躍されまし
たね。オリンピック出場を意識されたのはいつ
頃からですか?

桐生:高校3年生の頃からです。オリンピックで
活躍する選手の姿をテレビを見て、自分も陸上



をやっているからに
は、あのような大きな
舞台に出られたらいい
なと。

そのオリンピックで活
躍し、今は憧れられる
立場になりましたが、
変化はありますか?

桐生:陸上関連のイベントなどに出るときは、参
加してくれる方に少しでもいい影響を与えられ
るようにと、心がけています。特に小学生だと、
おとなからの影響を受けることが大きいので、
僕も子どもたちの刺激の一つになればいい
なと思っています。

新国立競技場を走りたい

2020年の東京オリンピック・パラリンピックで
は、現在、新宿区に建設中の新国立競技場が
陸上競技の会場になります。新しい競技場
についてはいかがですか?

桐生:以前は、陸上の日本選手権は国立競技
場で開かれていました。僕は、前の国立競技
場を試合で走ったのは1度だけで、あまり思い出
がないんです。だからこそ、新しい国立競技場

はぜひとも走りたい。やはり、ナショナルスタジア
ムで走れるというのは気持ちも変わってきますよ
ね。走るからには、決勝を目指して頑張ります。

誰もが楽しめる大会に

東京2020オリンピックへの期待は?

桐生:リオでは、レース後にトラックをまわった時
に日本語の声援が聞こえてうれしかった。今度
は東京ですから、より盛り上がるでしょう。新宿
区は人口も多いので、たくさんの人が応援に
来てくれると思います。オリンピックをきっかけに、よ
り多くの人が陸上に興味を持ってもらえると期
待しています。そして、スポーツ自体をさらに楽
しめるようになるといいですね。そのためにも、い
い結果を残したいと思います。ぜひ、応援してく
ださい!



ところ あさお／昭和44年(1969年)生まれ。美術家。小学5年生まで新宿区中落合で過ごす。東京造形大学卒業、建築専攻。平成13年9月11日以降「繋げる」をテーマに紋様を制作。美術から建築までジャンルを超えて活躍している。

伝統の色と柄で日本を表現

区長：野老さんが手がけられた東京2020オリンピック・パラリンピック(以下、東京2020大会)のエンブレムは、四角形がたくさん組み合わさっていて、シンプルながら、とてもよく考えられているんですね。

野老：ありがとうございます。2つのエンブレムは、大きい四角形が9個、中くらいのと小さいのが18個ずつ、合計45個を組み合わせています。3つの四角形を用いて、両方とも同じ数で作っています。東京2020NIPPONフェスティバル(大会公式文化プログラム)マークも同様です(右下写真)。僕はこの約束事を「律」と言っています。スポーツで言えばルールですね。俳句の五七五もそうですが、一定の縛り、つまり律があるからこそできる事柄を示したいと思いました。

区長：私は市松模様になっているところに日本らしさを感じました。四角形がつながってできているのがデザインの特徴ですが、どのようなメッセージを込めているのですか。

野老：四角形のつながりで作った輪には、「多様

性と調和」というメッセージを込めています。違う物が組み合わさって、一つになるということ。多様性は東京2020大会のメッセージの一つで、「ダイバーシティ」とも言います。新宿はダイバーシティのまちですね。

区長：おっしゃるとおり、様々なバックボーンの方が多くいらっしゃる、多様性のまちです。野老さんがエンブレムに込められた多様性の中に一定の法則があるというのは、人類全体の普遍的なルールも示していると思います。エンブレムの持つ意義を考えることで、多様性を考える。これが東京2020大会のレガシー(遺産)となっていくといいですね。では、藍色1色にしたのは何か理由があるのですか。

野老：神聖なものを作りたいと、1色にしました。藍にしたのは、何年経っても残る強い色にしたかったから。黒に次いで退色しにくいんです。日本の伝統色でもあり、庶民の色なんですね。東京開催を機に、文化が花開いた江戸の紋様を復興したいという願いも込めています。それに、青を愛でる国はいっぱいあるので、色への気持ちを共有しやすいと思いました。



「2つともパーツの総量は同じなんです」と、野老さんが木製の模型でエンブレムのしくみを説明。

新宿区役所本庁舎・第1分庁舎・第2分庁舎の代表電話は ☎ 03(3209)1111、ファックスは ☎ 03(3209)9900、新宿区ホームページは HP <http://www.city.shinjuku.lg.jp/> です。



日々変わる新宿にワクワクした

区長：野老さんは新宿のご出身ですが、子どもの頃の新宿の様子を覚えていますか？

野老：ええ、超高層ビルが建ち始める頃で、近くの高台からはそれこそ、によきによきとビルが建っていくのが見えました。僕は中落合に住んでいたのですが、空き地ができたと思ったら、すぐに何かができる。その変化をポジティブに捉えていました。ずっと、工事中でしたが、ワクワクしていました。

区長：何ができるんだろうって、子供心に楽しみでしたね。私は野老さんより少し下の世代ですが、何棟か建った高層ビルはよく覚えています。今もそうですが、新宿は10分も歩くと違う顔になりますね。そんな街の雰囲気は野老さんの仕事に影響していますか。

野老：技術的なことに関しては、父が建築家で、

母がインテリアの仕事をしていた環境が影響していると思います。近くに新しい建物が建つと、工法などを父が解説してくれましたので。デザイン的なことでは新宿で育ったことの影響はあると思います。僕が住んでいた中落合には画家のアトリエがあったり、赤い鳥運動の方々の家があったり、文化的に希望を持った郊外でした。そこで芸術に関する憧れを感じていました。新しいビルができる工業的な面と、芸術的な面、そして一方で、歌舞伎町のような賑わしさもある。いろいろなものが混在しているおもしろさが新宿にはありましたね。

区長：新宿区のはほとんどのまちは戦争で一度焼け尽くされましたが、落合は空襲の影響がなく、古い家が残りましたからね。芸術の息吹を感じる一方で賑わいにも触れていた。その感性が野老さんの多様性に満ちたデザインを生み出しているのですね。

よしずみ けんいち／昭和47年(1972年)生まれ。新宿生まれの新宿育ち。平成26年より新宿区長となり現在二期目。高校時代は陸上部に所属。中・長距離走を専門とし、毎日フィールドで汗を流した。2020年、新宿区内で陸上競技が開催されることに、期待に胸を躍らせている。



2020年以降もつながる取り組み

区長：東京2020大会まであと1年となりました。オリンピック開催にあたっては、文化プログラムも開催しなくてはなりません。区でも新宿クリエイターズ・フェスタなどを開催しています。先日、西新宿にある野老さんの作品「ドラゴンフラワー」を拝見して、同じ形がつながっていくという作風が続いていらっしゃるんだなとわかりました。

野老：新宿110ビル(西新宿1-10-2)にある2013年の作品ですね。ひし形の組み合わせで作っていますので、今につながっていますね。

区長：東京2020大会以降、エンブレムのデザインを更に展開する予定はありますか。

野老：東京2020NIPPONフェスティバルのコンセプト映像の制作に、ディレクターとして関わらせてもらいました。その映像には、作図の背景にある数学的な仕組みがかなり盛り込まれています。これまでのエンブレムにはなかった広がりですが、そこから生まれるのではと期待しています。アスリートとしてオリンピック・パラリンピックに出られる人はほんのひと握りですが、その時間を共

有したり、次の世代に伝えていくことはできる。何事もなく終わるのではなく、大会後も色々と伝えていきたいと思います。また、50年後に日本で開催されることがあるかもしれませんから。

区長：そうですね。新宿区では大勢の方が来られるこの機会にどのように対応できるのか、特に子どもたちに外国の方にも対応できる力を身に付けてほしいと考えています。困っている方がいたら手を差し伸べられるよう、心のハードルを超える力を残していきたいと思います。

野老：あとから見た時にどういう年だったのかは、今やっていることが反映されていくのだと思います。前回の東京オリンピックの時には、日本の建築技術が一気に高まりました。東京2020大会からも知恵の伝承をしていくことが大切だと考えています。

区長：その知恵を伝えていくことが、さらに、誰もが普通に暮らせるダイバーシティにつながっていくきっかけになることを期待しています。この大会だけで終わるのではなく、レガシーとできるようにしたい。のちのち、2020年から変わったと言われるようになるといいですね。



東京2020NIPPONフェスティバルのコンセプト映像を紹介する野老さん。



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 新宿区内で開催される競技の概要や見どころを紹介します!



**第32回オリンピック競技大会
(2020/東京)**
2020年7月24日(金)～8月9日(日)
33競技・339種目



**新国立競技場
(オリンピックスタジアム)**
大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所JV作成／JSC提供
注)パース等は完成予想イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。
植栽は完成後、約10年の姿を想定しております。

東京2020パラリンピック競技大会
2020年8月25日(火)～9月6日(日)
22競技・537種目

陸上競技(オリンピック)

「走る」「歩く」「跳ぶ」「投げる」
スポーツの基本を追求し、人類の限界に挑む。



【競技紹介】

100mなど短距離走やハードル、リレーなどの「トラック競技」、走高跳やハンマー投などの「フィールド競技」、マラソンや競歩など一般公道を使用する「ロード競技」、10種競技(男子)や7種競技(女子)などの「混成競技」があり、東京2020大会では全48種目が行われます。



Photo by Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI

【競技日程】

2020年7月31日(金)～8月9日(日)

【見どころ】

例えば、同じ「トラック競技」でも、世界最速のスピードを競う短距離走、選手同士の駆け引きがカギを握る中・長距離走、走順やチームワークが重要なリレーなど、種目によって見どころが異なります。他にも、「フィールド競技」で跳躍するフォームの美しさや投てきの力強さ、「ロード競技」における持久力と精神力など、種目ごとに多種多様な魅力があります。ぜひ自分のお気に入りの種目を見つけて、観戦をお楽しみください。



©Tokyo2020

陸上競技(パラリンピック)

全競技中最多の168種目!
用具やガイドとひとつになり、
それぞれのベストを目指す。



【競技紹介】

基本的なルールはオリンピックと同じですが、障害の種類や程度、運動機能などによりクラス分けしたうえで、競技を行います。車いすを使う選手、義足を使う選手、視覚障害の選手など、すべての選手が自らの限界に挑戦します。



©Tokyo2020

【競技日程】

2020年8月28日(金)～9月6日(日)

【見どころ】

「レーサー」と呼ばれる競技用車いすやカーボンファイバー製の義足、バランスをとるための義手など、様々な障害に応じた用具を使いこなすアスリートたちが躍動します。また、視覚障害の選手に走る方向を伝える「ガイド」や、声や音によって踏切位置を教える「コーラー」と息のあったパフォーマンスを見せる選手たちに注目です。



Photo by Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI

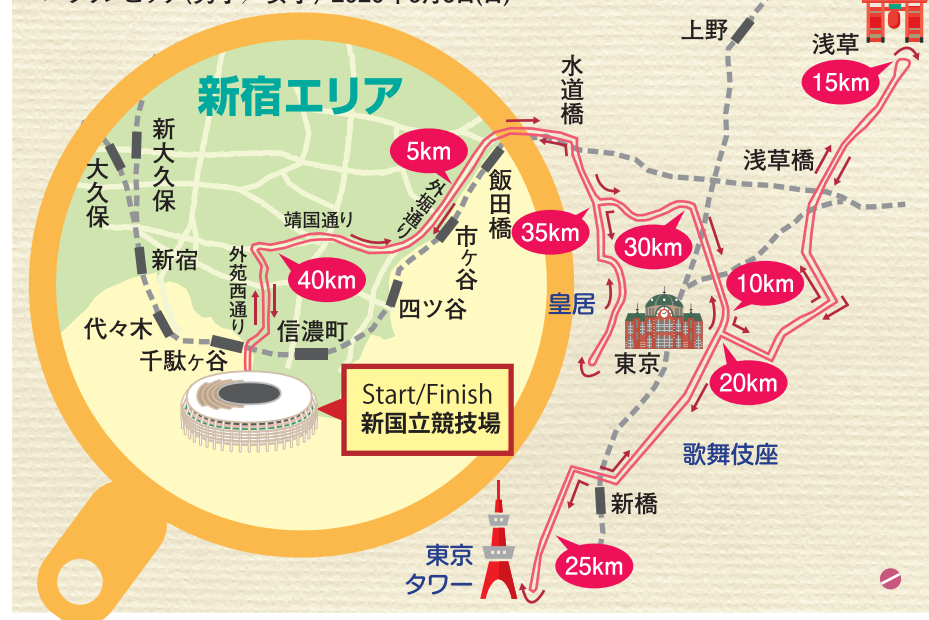
マラソン(オリンピック／パラリンピック)

新国立競技場をスタートし、新宿のまちを選手が駆け抜けます。ぜひ沿道にお越しのうえ、熱い声援をお送りください。

【競技日程】

オリンピック(女子):2020年8月2日(日) オリンピック(男子):2020年8月9日(日)

パラリンピック(男子／女子):2020年9月6日(日)



サッカー(オリンピック)

世界のトッププレーヤーが集う熱い戦い。
優勝争いを見逃すな。



【競技紹介】

200を超える国と地域でプレーされている、世界で最も人気のあるスポーツの一つです。各大陸の予選を勝ち抜いた国に開催国の日本を加えた、男子16か国、女子12か国で優勝を争います。

【見どころ】

男子は、最大3名のオーバーエイジ枠を除いて23歳以下の選手でチームが構成されるため、ワールドカップとは異なる若手選手たちの活躍に注目です。一方、女子は年齢制限がなく、ワールドカップと並ぶ熱戦が繰り広げられます。

女子の決勝戦は新国立競技場(オリンピックスタジアム)で開催!

【競技日程】決勝戦(女子) 2020年8月7日(金)

開会式・閉会式(オリンピック／パラリンピック)

大会の始まりと終わりを彩る開会式・閉会式。
全世界が注目するセレモニーです。

【日程】

オリンピック開会式:2020年7月24日(金)

オリンピック閉会式:2020年8月9日(日)

パラリンピック開会式:2020年8月25日(火)

パラリンピック閉会式:2020年9月6日(日)



リオ2016オリンピック開会式
Photo by Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI

陸上競技観戦の楽しみ方とは?!

①東京2020大会における陸上競技の観戦の見どころは?

陸上競技は走・跳・投といった人間の基本的運動能力を競うものです。運動自体は非常にシンプルですが、成績は記録という数字に客観的に表現されます。人類はどれだけ速く走ることができるのか、どれだけ高く跳べるのか、遠くに投げることができるのかといった限界に挑むところに醍醐味があり、それらに挑むアスリートの姿を見ていただければと思います。

②東京2020大会の陸上競技における日本人選手のメダル獲得の可能性は?

リオデジャネイロのオリンピック・パラリンピックを終えてから、日本チームはホスト国として競技力の底上げもしてきています。オリンピックでは男子の短距離を中心にリレーあるいはマラソン・競歩といった種目は有力視されています。パラリンピック競技でも車いすの中距離、マラソン、跳躍種目も有力視されています。競歩・マラソンは一般の道路で実施されますので、沿道での声援をぜひお願いいたします。

スポーツマネージャー
(陸上競技)
鈴木一弘

